



おつひ

半田市立乙川東小学校

第12号

令和4年 2月 4日

発行責任者：福島 富美

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう



先日、テレビドラマで主人公が「真実はひとつではありません。」と言っていました。「真実」とは、「事実」に対する嘘偽りのない解釈であり、それは人によって変わることもあり得るのだそうです。つまり人の数だけ真実は存在するということになります。なるほど、そうか、と妙に納得してしまいました。

たったひとつの「事実」を様々な角度からみることで、様々な解釈が生まれる。それは時に、マイナスだと思われる事柄をプラスの事柄に変えてしまう力を発揮します。それを「リフレーミング」というそうです。

今、保健室の掲示板には「リフレーミングしよう！」という掲示がされています。たとえば、水が半分入っているコップを見たときに、「もう半分しか水が残っていない」と考えるか「まだ半分も水が残っている」と考えるかで、その後の心持ちが違ってくるといいます。見方を変えれば、「いいかげん」は「おおらか」、「しつこい」は「粘り強い」、「おせっかい」は「気が利く」・・・。



私たち大人が子どもと接するときには心がけるのはもちろん、子どもたち自身がこんな風に考えられるようになるといいな、と思います。

一月のある日、3年2組の道徳の授業で「正直」について話し合っていました。たくさんの子の「うそは自分がいやな気持ちになるからいけない。」「うそは絶対にばれてしまうからついてはいけない。」という意見が続く中で、ある女の子が「友達のためにうそをついた方がいいときもある。」と発言しました。その意見に対してうなずく子や「他の子と遊ぶから遊べないと言うより、用事があると言った方がいいと思った。」という体験談も出始めました。自分だけの物差しではなく、他の物差しで他の角度からみた考えに触れることができた時間でした。

みんなで育てる

コミュニティ・スクール「おつひ」

1月14日(金)朝起きると一面雪景色。学校も真っ白。道路に降り積もった雪を見ながら、いつもより緊張して、横断歩道を渡る子どもたちを見守りました。ふと、横断歩道の向こう側で、子どもたちが安全に横断できるようにしてくださっているお母さんに気づきました。ご自分の息子さんを見送った後、雪が舞い散る中、次々に登校する子どもたちを安全に横断させてくださっています。「おつひ」の一員であることを誇りに思える心温まる出来事でした。



1月の乙東っ子



1/14 雪が積もりました！



1/14 大きな雪だるま



1/17 6年生 薬物乱用防止セミナー



1/17 6年生 自分だったらどうする？



1/20 児童会役員選挙運動



1/20 あいさつをして自分をアピール

お願い

2月24日(木)に予定されている学習発表会と学校公開につきましては、今後の新型コロナウイルスの感染状況により、中止とすることがありますことをご承知おきください。その場合は連絡いたします。